

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

5・12 共同集会

社会保障・社会福祉は国の責任で、守れ憲法25条



集会で訴える竹崎会長

5月12日、日比谷野外音楽堂で開催された「社会保障・社会福祉は国の責任で、守れ憲法25条」5・12共同集会には、全国から3500人が参加しました。

集会は、呼びかけ人でもある本田宏さんと保育士の佐治宏美さんの司会で進められ、呼びかけ人の尾藤廣喜弁護士が、日本の貧困な現状を示しながら基調報告を行い、「9条、25条をはじめとする日本国憲法を守ろう」という運動を、それぞれの分野だけでなく、立場を超えてともに力を合わせ、地域のすみずみまで大きく広げ、更なるうねりを作っていくことが今こそ必要と訴え、「かけがえのない1票の力で政治を私たち主権者のものに大きく変えよう」と呼びかけました。

集会では、保育・介護の現場や社会福祉法人の経営者、医師・生存権裁判の元原告・障害者・年金受給者など11人の切実な訴えが行われ、会場からは共感の大きな拍手が寄せられました。

東京社保協の竹崎会長も、診療所の医師の立場から訴えを行い、「医療から見放される患者を増やすのが今の政治です。憲法25条の空洞化、憲法改悪を止めさせるために安倍内閣に鉄槌を」と呼びかけました。

最後に、呼びかけ人の伊藤真美さんが「集会アピール」を提案し「守れ25条」のプラカードを全体で掲げ採択しました。

集会終了後、国会に向けて請願デモを行いました。



明日を決めるのは私たち、平和と命と人権を 5・3 憲法集会



戦争法を廃止しよう

5月3日、「明日を決めるのは私たち、平和と命と人権を」5・3憲法集会が東京臨海広域防災公園で開催され5万人が参加しました。

昨年から取り組んでいる「戦争法の廃止を求める2000万人統一署名」が、1200万人以上になったことが集会で報告され、その後、5月19日には国会に提出しました。

集会では、「戦争法廃止統一署名については、6月30日までに2000万人を突破しよう」との呼びかけに、参加者は大きな拍手で応えました。

集会終了後、2つのコースに分れてパレードを行い。沿道の市民に集会の内容と、2000万署名への協力を呼びかけました。

なお、東京土建・東京地評・東京社保協の3者共同で作成した「戦争法廃止ハガキ統一署名」については、5月末現在で1200枚を超えるハガキが返送され、署名数も3000筆を大きく上回っています。

各地域・団体の取り組み

葛飾社保協

葛飾社保協が主催する第8回「無料なんでも相談会」が、4月21日（木）にJR亀有駅・かめありリリオパークで行われました。当日は生憎の小雨模様でしたが、午後1時から5時半までの間に21人が相談に訪れました。

相談は、法律に関することが4人、生活保護や都営住宅など、くらしに関する相談が3人、仕事がほしい紹介してが3人、その他に障害年金や住宅境界線、相続のあり方な

どでした。中でも、生活保護受給者の人生相談は、日常生活と自身の精神的状況など深刻なものでした。

また、3人からあった「仕事してほしい」という相談は、その場で解決できる問題ではありませんが、今日の状況を反映しています。「定年を過ぎたが身体は丈夫だ」「働かないと生活ができない」など切実な相談です。1人1人には必要な情報が届いていない、もしくはさがす手段が判らないという状況になっているとおもわれます。

相談会は6年目を迎え、この間は4月と11月の年2回の開催となっています。弁護士、税理士、社労士、看護師、ケアマネ、建築士などたくさん専門家と区労連や民商、守る会などのベテランが親身になって相談に応じています。今後は、労働者の職場の悩みや相談ごとに応えられる時間（土日か夜間）に実施することなども検討課題となっています。

（菅野勝祐 葛飾社保協・相談担当責任者）

町田社保協

町田社保協は、4月30日（土）に総会を開催し、8団体13人が参加しました。

総会記念として、山岸太一日本共産党稲城市議が、「稲城市介護保険の総合事業、2015年から実施の実態について」と題して講演し、町田市の総合事業への移行に對してのアドバイスをしていただき、「今、介護離職が増え、介護問題は、働く世代との共同の運動が必要となる」との話に、さらに運動を進める核心を得ました。

総会では、町田市の介護施設アンケートの結果をふまえ、「安心の介護保険制度実現のための緊急要望」を町田市に提出したことなどを報告しました。参加者からの報告を受け引き続き、介護保険制度や国保の改善と組織拡大を目指した取り組み方針を全体で確認し、当面の行動として、5月15日に第7回なんでも相談会を開催することを確認していました。

（町田社保協通信より）

八王子社保協

「だれもお金の心配なく必要な医療・介護を受けられるようにすること」などを求める国会請願署名は、4月末現在で288筆になりました。八王子社保協に参加する、共立医療会・いきいき福祉会・友の会などの民医連グループは、別途105筆を民医連に集中し、4月20日には民医連の介護ウエーブに参加し国会請願を行いました。

八王子社保協の佐野会長は、全国の教え子に協力を依頼し、北海道・和歌山・新潟・兵庫などから124筆が寄せられています。

また、「子育て支援のため、子どもの医療費無料化・保険料軽減を求める」都議会陳情署名については、新婦人から288筆、年金者組合から109筆、佐野会長から97筆など4月末現在で536筆が集約され、新聞折り込みを行った署名用紙も281筆に達しています。引き続き署名に取り組んでいきます。

（社保協ニュースより）



葛飾社保協

5月24日、葛飾区内の全駅で「戦争法廃止」「消費税10%への引き上げはキッパリ中止を」の宣伝行動が行われました。

この行動は、葛飾社保協、増税反対実行委員会、消費税をなくす会の3団体の共催で取り生まれ、アベノミクスの3年間で経済政策の破綻がはつきりし、消費税の10%への引き上げは一層の経済破たんを招き、庶民の生活を厳しいものにするかと訴えました。



さらに、「戦争する国には絶対してはいけない」との宣伝に、足を止めて署名してくれ

るなど、どの駅でも大きな反響がありました。この取り組みには葛飾13の駅に16団体203人が参加し、戦争法廃止署名が254筆、消費税引き上げ中止署名が129筆寄せられました。

2015年・全日本民医連 経済的事由による手遅れ死亡事例調査

受診抑制の現状を告発

全日本民医連では「病気や不調があっても経済的な理由で病院にかかるとなり、死亡に至った」と考えられる事例を毎年調査しています。今回の2015年度の調査では、32都道府県から63人の死亡事例が報告されました。また、2006年から11年にわたる調査での死亡事例累計は509人にのぼります。

この調査は、民医連加盟事業所のみを対象としており、全日本民医連加盟医療機関の全国シェアは

2%であり、この調査の死亡数は氷山の一角です。

調査結果では、65歳未満の稼働年齢層が死亡事例の56%を占めています。世帯構成は、独居が36%、複数世帯が64%と、複数世帯が多い状況です。また、持家で家族と住んでいるにも関わらず、世帯全員が貧困で手遅れとなった事例が30%で、家族間で支えきれない状況や貧困があらゆる世代に広がっていることが現れています。

高い保険料で皆保険が機能せず
保険加入の状況は、無保険・国



保資格証の事実上無保険状態の方は、合計44%に上ります。(図参照) 無保険状態・短期証になった理由は「困窮で保険料が支払えなかった」という方が75%と多い状況です。高すぎる保険料で、国民皆保険が機能していません。

今回の調査で、東京民医連加盟事業所からの事例数は、全都道府県中最多で8件が報告されました。

8件中7件は同居家族がいる事例で、全国調査で見えた「家族と暮らしていても世帯全体が貧困」という状況がありました。事例の内容では、「高すぎる国

保料が払えず無保険状態となり、資格証で10割負担は支払えない」と受診を我慢した事例。「正規保険証を持っていたが、3割の一部負担が重く、がん治療を中断した」事例。「早期に生活保護が受けられていれば手遅れにならなかった」事例などがありました。

高すぎる国保料、高い窓口負担、生活保護を受けるまでのハードルの高さなどにより、受診を控え死亡に至る深刻な状況が東京にもあります。国保は、保険原理ばかり強調され、社会保障としての役割を果たせていません。その上政府は、今後一層の患者負担増と保険サービスの切り捨てを計画しており、「経済的理由による手遅れ死亡」の増加が危惧されます。

本来、社会保障・医療を受けることは権利であり、お金のあるなしで医療を受ける権利が侵害されるはなりません。無保険状態”を出さない・放置させない取り組みが必要です。加えて、窓口負担減免制度の拡充と高額療養費自己負担限度額の引き下げが求められます。また、生活保護をより利用しやすい制度とすることも必要です。憲法25条に基づく権利としての社会保障の実現を、国・自治体に強く求めていきたいと思います。

第30回日本高齢者大会 in 東京

日時 8月28日(日)13:00~
8月29日(月)10:00~

会場 28日 大正大学
29日 東京国際フォーラム

日本高齢者大会実行委員会

中央社保協第60回総会

日時 7月24日(日)13:00~
7月25日(月)12:00まで

会場 磯部ガーデン「雀のお宿」

参加費 13000円(一泊二食、会場費)

第44回中央社保学校 in 高知

日程 10月6日(木)13:30~
10月8日(土)15:00まで

会場 6日 グリーンホール(高知県民文化ホール)
7日 高知城ホール(入門講座)
8日 グリーンホール(高知県民文化ホール)

内容

- ◎講演① 社会保障の拡充で経済再生を
- 講演② 貧困と格差の拡大を許すな
- ◎公開市民講座 講師:渡辺治氏
- ◎社会保障入門講座・貧困と格差シンポ
フィールドワークなどを予定

主催: 中央社保協

主な走路順路

東コース (約18km)	西コース (約18km)	南コース (約17km)	北コース (約18km)
夢の島公園	杉並区役所前	大田区役所前	北区役所前
↓	↓	↓	↓
江東区役所前	練馬区役所前	品川区役所前	板橋区役所前
↓	↓	↓	↓
中央区役所前	中野区役所前	目黒区役所前	豊島区役所前
↓	↓	↓	↓
港区役所前			新北区役所前
↓			
代々木公園			

集合・到着時間等について

- スタート時間は6時30分前後を予定しておりますが、コースによって異なる場合があります。別途予定表にてご通知いたします。
- 代々木公園の到着は全コース、13時30分を予定しております。
- 全コース到着後、団合せしモーニングを30分程度行いますので、休憩をとりながらご参加下さい。
- 必ず朝食はとって下さい。

○参加費にはゼッケン代、保険料、第五福丸平和協会への募金(100円)が含まれています。
 ○替替えなどの手荷物は荷役車に構って走り出す。希望地でご自身の責任で手荷物を受け取って下さい。
 ○当日は晴暑になることも予想されます。2~3キロごとに給水地点を設けていますが、体調管理には十分お気を付け下さい。
 ○帽子は必ず着用して下さい。着用されていると良いとまるとはできません。帽子は出発地で配布いたします。(10,000円)
 ○「安全係」の指示を受けた場合は必ず停止車に乗って下さい。「笑顔」がなくなるまで走りなさい。
 ○申し込み、申込書に必要事項を記入し、下記宛まで郵送またはFAXでお送り下さい。料金は郵便振替でお願いします。
 ○お申込みいただき、ご方にはゼッケン、注意事項などの資料を6月27日(月)頃に発送いたします。

お申込み・お問い合わせ 170-0013 東京都豊島区東池袋3-89-2 大住ビル401
 新日本スポーツ連盟東京都連盟 TEL: 03-3981-1345 E-mail: njsf@tokyo.email.ne.jp
 「反核平和マラソン」係まで FAX: 03-3981-8316 HP: http://www.njsf.net/tokyo/

口座名義: 新日本スポーツ連盟東京都連盟 振込先: 郵便振替番号: 00110-4-147247
 他金融機関から振込の場合: 支店名: 〇一九(ビ・イ・イ)店 当座: 0147247

申込書

氏名	7月2日の満年齢		性別
所属・団体名	参加回数	回目	男・女
住所	TEL: _____		
	緊急連絡先: _____		
	E-mail: _____		
参加コース	東コース	西コース	南コース
コースに〇と区画にチェックして下さい	<input type="checkbox"/> 夢の島-江東 <input type="checkbox"/> 江東-中央 <input type="checkbox"/> 中央-港 <input type="checkbox"/> 港-代々木公園	<input type="checkbox"/> 杉並-練馬 <input type="checkbox"/> 練馬-中野 <input type="checkbox"/> 中野-代々木公園	<input type="checkbox"/> 大田-豊島 <input type="checkbox"/> 豊島-目黒 <input type="checkbox"/> 目黒-代々木公園
	<input type="checkbox"/> 北コース <input type="checkbox"/> 北-板橋 <input type="checkbox"/> 板橋-豊島 <input type="checkbox"/> 豊島-新野 <input type="checkbox"/> 新野-代々木公園		
参加の目的(任意)	ランニング () 他()		
未成年の方は保護者の同意が必要です。	保護者名	印	

NO NUKES PEACEランニング

第21回東京反核平和マラソン
「核兵器廃絶」「スポーツは平和とともに」をみんなで走ってアピール! Let's PEACE RUNNING!




核の無い安全で平和な世界への想いは万国共通。国籍問わず、みんなで反核平和を訴えましょう!

※このマラソンは競走ではありません。
 「核兵器廃絶」「世界平和」を訴えるランナーの平和アピール行動です。みんな笑顔でアピールしましょう!!

開催日 2016年7月2日(土)
参加費 2,000円 (随時: 毎月20日(月)まで)

自由なスタイルで走れます!
 一人での完全完走はもちろん、友達や同僚など、数人でグループ形式参加や、途中からの参加など、ご希望に応じて参加する事が出来ます。(このように参加は自由です)



主催: 第21回東京反核平和マラソン実行委員会
 主賛: 新日本スポーツ連盟東京都連盟
 同東京ランニングクラブ
 後援: 日本核廃止自治体協議会
 平和市民会議・港区・中央区
 会場は現時点では未定です。

コース

北コース: 北区役所 → 代々木公園 → 大田区役所

西コース: 杉並区役所 → 代々木公園

東コース: 夢の島公園 → 代々木公園